

こども園としてスタート

豊田の「林丘幼稚園」新園舎完成 運営する蟬川学園が竣工式



豊橋才能こども園などを運営している「蟬川学園」(齋藤善郎理事長)が、豊田市大林町で運営する「林丘幼稚園」の新園舎が完成し27日、現地で竣工式が行われた。

新年度から幼保連携型認定こども園になるのに合わせ、園舎を建て替えた。新園舎は鉄骨2階建てで、延床面積は約2100平方メートル。1階は子どもたちがすぐに運動場に

園舎の完成を祝った竣工式。豊田市大林町の林丘幼稚園で。

出られるよう工夫した。定員は273人となる。建設は、太啓建設(豊田市、大矢伸明社長)と、オーテック(豊橋市神野新田町、彦坂彰一社長)による「太啓・オーテック建設共同企業体」が担当した。

竣工式で齋藤理事長は「昨年8月からの短期間の工事だったが、子どもたちが活発に活動できる素晴らしい園舎が完成した。幼児教育は教育の土台となる。主体性を持つて行動できる子どもたちに育つよう、頑張っていきたい」と

あいさつした。

林丘幼稚園は元々、豊田市が運営していたが11年前に民間委託を行い、蟬川学園が経営を引き継いだ。待機児童問題の改善のため新年度から認定こども園として新たなスタートを切る。



完成した新園舎二同

(竹下貴信)